

北の子

浜岡北小学校だより【臨時号】

<学校教育目標>

「たくましさ」と「思いやり」で未来をつくる子



本校の学力・学習状況をお知らせします。

今年度の全国学力・学習状況調査は、5月27日（木）に実施され、本校でも6年生34人が参加しました。個人の結果については、『個人票』として、前期通信表と一緒に児童に渡しております。

さて、今年度の調査結果からうかがえる本校の傾向についてお知らせします。今回の結果を受けて、改めて指導の内容の見直しや指導方法の改善につなげていきます。

I. 本校の現状と課題

(1) 国語の結果の概要

		全国との比較
全体		○
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	△
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	○
	書くこと	◎
	読むこと	△

全国平均正答率と比較して、
±3%未満 …○
+3%～+10%…◎
+10%以上 …◎◎
-3%～-10% …△
-10%以上 …△△

○目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題がよくできている。76.5%（全国と比較して+19.9%）

△学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題の正答率が低い。

【つみ重ね → 積み重ね】 38.2%（全国と比較して-16.2%）

(2) 算数の結果の概要

	全体	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
全国との比較	○	○	○	◎	○	△

○二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述する問題がよくできている。85.3%（全国と比較して+22.8%）

○速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察する問題がよくできている。97.1%（全国と比較して+10.4%）

△帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述する問題ができていない。41.2%（全国と比較して-10.8%）

△示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断する問題の正答率が全国平均と比べて低い。70.6%（全国と比較して-12.4%）

△小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述する問題ができていない。35.3%（全国と比較して-16.2%）

(3) 質問紙調査における学力に係る項目

項目	全国との比較
自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか	△△
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	○
友達と協力するのは楽しいと思いますか	○
家で自分で計画を立てて勉強していますか	◎
学級の友達と話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていましたか	△
自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	◎◎
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	△△
各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか	△
話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	△△
分かった点やよく分からなかった点を見直し次の学習につなげることができていますか	△

○「自分と違う意見について考えるのは楽しい」、「友達と協力するのは楽しい」と回答した割合が高く、違いを認め合うことや協調性が育まれていると考えられる。

○「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童が7割に達している。自己管理、時間管理の力がついてきているのではないかと考える。

△思っていること、感じていることを言葉で表現すること、考えをまとめ、深め広げていくことに自信をもてない傾向がある。語彙を増やす、話す・書く・交流する経験を多く設定するなどして、自信をつけていきたい。

△与えられたことに真面目に取り組むが、自分で考えたり、自分から取り組んだりすることに課題が見られる。日常生活に結び付いた必要感のある課題設定をするなど、子どもの「やってみよう」気持ちをより引き出したい。

2. 学力向上に向けた取り組み(学力・学習状況調査の結果を受けて)

1. 国語科においては、「長い文章を大まかにとらえて読むこと」「文章の要点を決まった字数でまとめて書くこと」の指導を大切にします。また、文章を速く読む力をつけるため、「長文や文字数の多い問題に慣れさせること」も実践していきます。
2. 算数科においては、式や数直線などを使い、自分の考えを言葉で説明する場面を授業の中で積極的に取り入れることで、「割合」の理解を深めます。また、他者に考えを伝える力を育てると共に、必要な情報を表やグラフから読み取る活動を通して、データを日常的に活用していく力をつけます。
3. どの教科の学習においても、考えを伝え合う場をより多く設定し、表現力・コミュニケーション力の向上に努めます。
4. ICTを効果的に活用し、子どもたちが自ら学びに向かう授業改善に、学校全体で取り組みます。
5. 家庭学習においては、今後も保護者の皆様と連携し、計画的な取り組みや予習・復習への取り組みを期待します。子どもたちが進んで家庭学習に取り組めるよう、課題の出し方を工夫・改善するよう努めます。

担当 教務主任 浅岡
電話 86-3364